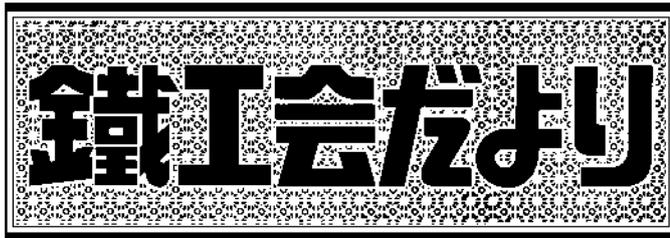


相互扶助
団 結
共存共栄



発行 協同組合 島根県鐵工会

〒690-8567 松江市西津田一丁目9番50号

☎(松江) 0852

☐鉄鋼営業部 鉄鋼課 24-2530

☐雲 南 営 業 所

☐工 機 営 業 部 24-2529

☐材 板 金 課 24-2528

☐会 員 サ ポ ー ト 室 24-2157

☐総 務 部 24-2156

☐内 陸 倉 庫 24-2155

〒 699-0406 松江市宍道町佐々布 868-54

☎ 0852-66-3010

☐出 雲 営 業 所

〒 693-0017 出雲市枝大津町 21-3

☎ 0853-22-9288

☐浜 田 営 業 所

〒 697-0006 浜田市下府町 327-55

☎ 0855-22-1888

新鐵工会館 竣工記念行事開催

理事長挨拶



児玉理事長

日頃より組合員の皆様をはじめ関係各位には、組合運営に温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

当組合は、昭和13年、県下の鉄工業者が結集し、島根県知事の認可を受けて工業組合として発足して以来、87年の長きにわたり、事業協同組合として歩み

を重ねてまいりました。組合員の皆様とともに築いてきたこの歴史は、まさに地域産業の発展とともにあるものと自負しております。

このたび、長年にわたり皆様にご利用をいただきました旧館にかわり、4度目となる新会館の建設を行い、こうして無事に竣工の日を迎えることができました。今回は耐震性能の向上に加え、広くものづくりを知っていただき、組合員や市民の方に交流・体験をしていただく場となることを主な目的として、建設に着手したものでございます。

新会館は、緑豊かな松江内陸工場団地内の土地に建設されました。地域の皆様から温かく迎えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。また、設計・施工関係者の皆様のご尽力により、立派な会館が完成し、厚く御礼申し上げます。あわせて、多大なるご支援とご協力をいただいた関係者の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

今後は、組合員同士が学び合い、支え合いながら水平分業を進め、それぞれの「稼ぐ力」を高めていくことが、今後の重要な使命と考えております。また、子供たちや学生の皆さんがものづくりに楽しく触れられる開かれた場として活用するとともに、島根大学など地域の教育機関と連携し、産学協働による新たな価値創出にも積極的に取り組んでまいります。

この新会館が、組合員の皆様の交流と連携の場として、また地域産業のさらなる発展の拠点として、末永く活用されることを願っております。今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新鐵工会館の外観

新鐵工会館 竣工祭・竣工式・内覧会

令和7年7月3日、松江市矢田町の新鐵工会館にて竣工祭・竣工式・内覧会が執り行われました。島根県知事や松江市長をはじめとする多くのご来賓の方々にもご臨席いただきました。竣工祭は52名の参加者にて玉串奉納をはじめとする神事が厳かに執り行われました。その後の竣工式では、工事関係者の皆様に感謝状を贈呈いたしました。続いて行われた内覧会開会式では、来賓の皆様から鐵工会の新たな門出に温かい祝辞と励ましの言葉をいただきました。その後、理事長をはじめ関係者によるテープカットが行われ新社屋の完成を祝い、これからのさらなる発展を祈念する式となりました。



竣工祭の様子



丸山知事の挨拶



テープカット

その後、内覧会が開催され、330名の参加者の皆さんには自由に会館内を見学して頂きました。各フロアでは担当職員がそれぞれの機能や特徴について説明しました。最新の設備や、DX サポートセンターなど、鐵工会の新たな取り組みを体感しながら、熱心に耳を傾ける来場者の姿が見られました。



内覧会 1階ロビー



内覧会 1階ロビー



内覧会 会員サポート室



内覧会 2階事務フロア



内覧会 3階テラス



2階事務フロア



3階会議室

新社屋の概要

所在地：松江市矢田町

250 番 219

敷地面積：4,019 m²

延床面積：2,109 m²

構造：鉄骨造 3 階建て

フロアガイド

- 1 階 交流スペース、DX サポートセンター、事務室（会員サポート室）
- 2 階 事務室（営業部・総務部）
- 3 階 会議室 大会議室（可動壁にて3分割可）、小会議室

特 徴：開放的なエントランス、複数の会議室・研修スペースなど、現代の多様な働き方やコミュニケーションに対応した設計となっています。

祝賀会の開催（ホテル一畑）

その後、18 時からはホテル一畑に於いて 250 名の参加者にて祝賀会が開催されました。多くのご来賓、組合員の皆様にご出席いただき、盛大に執り行われました。

冒頭では、鐵工会の創立から現在までの歴史を、各時代の貴重な写真とともに振り返る映像が上映され、参加者は先人たちの努力や時代の変遷に思いを馳せるひとときとなりました。祝賀会では主催者・来賓の祝辞や鏡開きのほか、専務理事から事業展開発表、雲州ひらた太鼓の演奏やアクアマジックによるダンスの披露など多彩な催しが行われました。会場は終始和やかな空気に包まれ、新会館のこれからに期待を寄せる声も聞かれる中、鐵工会のますますの発展を祈念して、祝賀会は盛会のうちに幕を閉じました。



鏡開き



雲州ひらた太鼓演奏



祝賀会中締め

専務理事による今後の事業展開発表

祝賀会では専務理事より、新社屋を拠点とした今後の事業方針について発表がありました。

会員企業同士のさらなる交流促進や、DX（デジタルトランスフォーメーション）による生産性向上、サポート体制の拡充など、未来に向けたさまざまな取り組みが紹介されました。

新会館は 8 月 18 日(月)より営業を開始いたします。組合員企業の皆様と地域産業の未来のために、この新会館が力強い支援拠点となるよう、役職員一同、より一層努力してまいります。

島根県鐵工会（本部）移転のお知らせ

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度当組合は、来る8月18日(月)より下記に移転することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも皆様のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

・営業開始日

令和7年8月18日(月)

・新住所

〒690-8567

島根県松江市矢田町250番219

※電話番号、FAX番号は

変更ございません。



協同組合島根県鐵工会 第22回親睦ゴルフ大会開催

令和7年5月10日(土)、玉造温泉カントリークラブにおいて第22回親睦ゴルフ大会が開催されました。

当日は好天に恵まれ、参加された皆様も日ごろの練習の成果を存分に発揮され、交流を深められました。



組合員異動

○新規加入組合員

5.20 日海通信工業(株)(代表取締役 青木 幹雄氏)
松江市古志原三丁目12番31号(電話0852-26-2255)電機設備業。
従業員72名。

職員人事異動

○退職

(令和7年5月30日付)
尾村 隆 浜田営業所

(令和7年7月15日付)
小室亜紀子 鉄鋼営業部 建材板金課

令和7年度 永年勤続表彰

令和7年度永年勤続表彰（島根県中小企業団体中央会主催）が行なわれ、当組合からも永年勤続従業員として右記の1名が表彰状並びに記念品を受賞しました。

記

島根県中小企業団体中央会 会長表彰

浜村 綾子 （雲南営業所）

30年以上勤続

鋼材市況

(7月1日現在)

■ 概況 ■

米トランプ政権の高関税政策が中国地方の企業にも影を落としています。貿易統計によると、5月の中国地方からの米国向け輸出額は前年同月比 41%減の 788 億円でした。この落ち幅は全国的にも大きく、特に瀬戸内海側に集積する自動車、化学、鉄鋼の減少が大きく影響したもののと思われます。その中でも、マツダは米国が世界販売の 3 割を占める主力市場で、広島と山口の工場からの輸出はそのうちの 5 割を占めています。米国での値上がりを警戒した消費者の駆け込み購入で 4 月は大幅に販売増となったものの、駆け込みが一巡した 5 月の販売は 19%減となりました。米国輸出の目処が立たない中、国内マーケットにおけるビジネス基盤強化と再成長を図る「国内ビジネス構造変革の方針」を発表し、国内シェアの拡大を掲げ、成長投資などの手法を国内販売に反映しています。現在の自動車業界においては、トヨタ自動車の生産が乗用車大手の中では比較的堅調ではあるものの、今後も米国輸出は採算悪化が避けられず、中期的にも生産への影響が避けられそうにありません。

また、建築需要も人手不足が深刻で中小建築が低迷し、需要が大型物件に偏る構造は変わっていませんが、足元は大型物件の開発もペースが鈍く、需要の回復は 2026 年度以降との見方が大半です。

このような国内需要の低迷を受け、同時に鉄鋼業界大手でも国内事業の構造改革に向けた動きが加速しています。日本製鉄と JFE スチールは、大型電炉の新設に数千億円を投資することを決めました。28～29 年度に稼働を予定する一方、一部高炉を休止して低炭素化を推し進める事で、脱炭素と DX による効率化を軸とした変革を更に推し進めていくものと思われます。

当初、大きな回復は見込めないものの、建築分野や製造業の一部が持ち直してくるという期待感があった 2025 年。ここにきて米国の関税政策の影響、中国経済の減速などに伴う需給ギャップの拡大、長引くロシア・ウクライナ戦争や中東情勢悪化といった地政学リスクなど、環境は刻々と変化し、企業としての対応力が試されています。

■ 鋼板 ■ (弱含み)

鋼板の需要環境は、建築分野ではファブリケーターの手持ち物件が少なく、今夏通して盛り上がり欠ける見込みとなっています。建機、産機といった製造業分野でも需要の低迷が長引いており、トランプ関税の影響で駆け込

み需要が一部メーカーで増えたものの、今後先行きは不透明となっています。造船分野は、他分野に比べ一定量の受注残があり底堅いものの、人手不足による対応の後ろ倒しが見られます。これら各分野での需要環境に伴い鋼板の流通、シャーの稼働状況は長期停滞を続けており、これに加えて盆休みによる実働日数減の夏枯れが需要環境低迷への更なる拍車をかけるものと思われます。

海外では、中国の低迷する不動産の国内需要から鋼材輸出へ圧力がかかり輸出量増加、各国で中国からの安値流入防止を目的とした通商措置を講じているものの、依然生産量は高止まりの状況となっています。

中国の改善されない需給バランスに加えて、アメリカの関税の影響が今後の日本国内の需要への下振れリスクと考えられる為、引き続き注視していく必要がありますが、国内環境下を鑑みて当面弱含みを継続していくものと思われます。

■ 薄板 ■ (弱含み・横這い)

薄板 3 品は、4 月末時点で前月比 1.6%増の 391 万トンとなり、1 月末から 3 ヶ月ぶりに増加しました。ただ、過去平均比では小幅であるうえ、需給の目安の一つとなる 400 万トン割れは 6 ヶ月連続で続いている状況です。これは通常の減少期である春先としては鈍い動きであり、依然として市況にとって重しとなっています。自動車分野では、認証問題やリコール対応による一時的な生産停滞を経て、現在は段階的な回復が進んでいます。月産ベースでは前年同期比で 3～4%程度の回復が見込まれていますが、電動車 (EV) 向けに高張力鋼や異種材の需要が高まっており、品種ミックスの変化によって特定鋼材の需給ギャップが拡大する懸念も出てきています。海外市況については、中国の供給過剰により輸入材の流入が継続しています。価格面では、国内材との格差が依然大きく、国内市場に対して圧迫材料となっています。直近では、アメリカの鉄鋼関税政策の発動が 90 日間延期されたことにより、市況は様子見のムードが強まっています。

これらの状況を踏まえると、市場は先行きに対して様子見の姿勢を保ちつつも、当面の市況は依然として「弱含み横這い」で推移すると見込まれます。

■ H 形鋼、一般形鋼 ■ (弱含み・横這い)

高炉メーカーである日本製鉄の建材製品を扱う商社・特約店などで構成される“ときわ会”がまとめた 5 月末の H 形鋼全国流通在庫は前月末比 0.3%増の 21 万トンとなり、在庫量は 18 ヶ月連続で 20 万トンを超え、在庫率は 3.41 ヶ月と 4 ヶ月ぶりに上昇しました。

電炉 H 形鋼のメーカー大手である東京製鉄は、2025 年 7 月契約の製品販売価格について全製品を据え置くとしています。輸送費・外注費に加えて電気料金などのエネルギーコストが上昇している状況に変わりはなく、足元

の需給状況を踏まえ、引き続き実需に見合った生産に努めていく方針です。

H 形鋼は、総じて需要の端境期にあり全体の荷動きは低調で、メーカーとしても市中在庫の適正値を図りかねている模様です。建築の中小案件を中心に低調な状況が続いていますが、省人化を目的とした物流施設や製造拠点に加え、DX 化拡大に伴うデータセンターやその関連工事に今後の期待がかかります。

海外においては、中国の鉄鋼生産は依然高位で、米国の関税政策による景気下押し懸念も深まる中、中東情勢は電気料金などメーカーコストへの影響の不安材料となっております。

■ステンレス■ (弱含み)

ニッケル系ステンレスの市況は、引き続き弱含みで推移しています。主原料であるニッケル価格は昨年より下落基調が続いており、さらに為替が円高に振れた影響も加わり、国内ステンレスメーカーは小幅な値下げを実施しています。

国内需要に関しては、一部に堅調な業種も見られるものの、全体としては依然として低調です。建築分野では、資材価格の高騰や人手不足の影響で工事の延期が相次いでおり、また、半導体関連分野の回復も遅れが見られます。

加えて、米国による関税措置の本格化や海外情勢の悪化といった外的要因も重なり、市況の先行きには不透明感が漂っています。このような不確実な状況下で、流通各社は慎重に価格を見極める展開となっております。

上記のような状況から、ニッケル系ステンレス市況は、当面の間、弱含みの状態が継続するものと見込まれます。

■カラーコイル■ (弱含み・横這い)

カラーコイルの市況においては、今春以降各地区にお

いて低調な動きが続いておりますが、夏場から秋に向け若干の回復傾向が見られる兆しとなっております。特に大型案件の着工が顕著になる見込みがあり、厚番手において活発化になると思われます。

薄番手においては、戸建てからリフォーム需要に切り替えが増えており、現状より市場に伸びが出るものと予想されます。

価格面においては、原板のコスト上昇、特に人件費や運送コスト上昇に伴う圧迫はあるものの、出荷量減少を考慮し化粧鋼板に転嫁が難しい状況となっており、今暫くは現状の価格形態を維持して推移するものと考えられます。

上記の状況を踏まえ、多少の落ち着き感も考慮して弱含み横這いで推移するものと予想されます。

■異形鉄筋■ (弱含み)

異形鉄筋の市況は、人手不足による工期の遅延や資材高騰による計画の見直し等により新規需要に乏しく、荷動きは精彩を欠く状況が続いています。

鉄スクラップ価格については、米国政権の関税政策による影響に注目が集まるなか、国際相場ではこう着状態が続いています。一方で、国内外の鋼材需要は軟化傾向にあり、国内鉄スクラップ相場は緩やかに下落していくとの見方が大勢を占めています。

しばらくは国際情勢を注視する必要があると考えられます。

メーカー側は、製造コストの増加により採算が悪化していることから適正利益確保を掲げ、これ以上の下落を食い止めるために価格の維持に注力しています。

しばらくは供給側と需要家側のこう着状態が続くと見られ、先行き、弱含みで推移する見込みです。

青年部会の活動から

協同組合島根県鐵工会青年部会

【三団体交流会の開催】

4月4日(金)午後6時30分より、松江市内の居酒屋に於いて、「島根県板金工業組合青年部」、「島根県鐵構工業会青年部会」、「島根県鐵工会青年部会」の三団体による交流事業を、総勢23名の参加者で開催いたしました。

交流会では、鐵工会に関わる三団体の青年部会員同士の親睦をはかり、同世代の経営者としての情報交換や、これからの青年部会活動への意見交換を行いました。親睦も深まり充実した交流会となりました。

【島根県松江地区建設業協会青年部会との交流会の開催】

5月8日(木)午後7時00分より、松江市内の居酒屋に於いて「島根県松江地区建設業協会青年部会」との交流会を21名の参加者で開催しました。

本交流会は、鐵工会の組合員と同じく「ものづくり」を

生業としている建設業の皆様と交流し、情報・意見交換を行い、今後の事業活動に有益な場となる事を目的としております。交流会では親睦も深まり、充実した会となりました。

2025中国・四国 ウェルディングフェスタ 展示会報告

5月16日(金) コンベックス岡山において「2025中国・四国ウェルディングフェスタ」が盛大に開催されました。当組合からは17社、32名の方々にご参加頂きました。大変ご多忙の中、ご参加頂き誠にありがとうございました。

参加メーカー 135社、御来場者数4,481名と賑わいのある展示会になりました。

今回の展示会は「信頼・未来をつなぐ」をテーマに溶接関連機器、消耗品等、数多くの新商品を展覧しておりました。

昨年に続き溶接機、研削機等を協働ロボット連動し出展するメーカーが多く見られました。

ファイバーレーザー溶接機は国内、海外メーカー合わせて5社が出展しており、溶接スピードの向上や、黒皮除去など実演を披露し来場者の注目を集めていました。

最新商品などのご提案の場として実際に見て触れて頂きながら、各出展メーカーの方々にご来場者の方々

がお話できる良い機会となると同時に、私共職員の良い勉強の場にもなりました。

組合員の皆様へ新製品、新技術の情報を提供できるよう日々努力してまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

(出雲営業所／高橋孝輔)



2025米子どてらい市[®] が盛大に開催

2025年6月13日(金)・14日(土)の2日間、米子産業体育館特設会場において「2025 米子どてらい市」が開催されました。

今回は、どてらい市誕生50周年記念企画として、特別企画やお子様向けの工作教室なども実施され、例年以上に活気ある催しとなりました。

当日はメーカー118社が出展し、総来場者数は1,964名にのびりました。

当組合ブースにも多くの組合員様にお立ち寄りいただき、心より御礼申し上げます。

特に今年は、昨今の地球温暖化の影響や、2025年6月1日から施行された職場の熱中症対策義務化の背景もあり、スポットクーラー、業務用エアコン、空調服、冷却ベストといった暑さ対策製品に非常に高い関心を頂きました。

実際に製品を「見て・触れて・体感」して頂きながら、現場の課題やご要望を直接うかがえる貴重な機会となりました。

今後も、組合員様の声をもとに、より現場にフィットする製品やサービスをご提案できるよう、メーカーと連携しながら努めてまいります。

ご多忙の中ご来場いただきました皆様に、あらためて感謝申し上げます。

(工機営業部／須山航成)



《エコ商品》 トラスコ中山 General Fan DC 45cm 工場扇 (据え置き・スタンドタイプ)

省エネ + 静音 のDCモータータイプ

DF-45A(据え置きタイプ)
高さ(約): 600mm

DF-45S
(スタンドタイプ)
高さ(約):
1,240~1,390mm

過酷な環境でも
割れにくい
アルミハネ
(ゴールド仕様)

内部にホコリが入らない
全閉式
DCモーター採用で

電気代 ※1 約 **47% OFF**

シーズン中 約 **2,200円**
電気代 ※2

騒音値 ※3 約 **40dB**

左右首振り 約90°
上下調節 約35°

左右首振り 約76°
上下調節 約45°

折りたたみ
三脚

▼商品情報
QRコード

家屋内

オフィス

店舗内

微風から強風(最大風量 $155 \frac{m^3}{min}$)まで **7段階調整**

※1 最大風量・60Hz時 / 当社ジェネラルファンIIと比較
※2 2.3円/h × 8時間 × 4ヵ月(120日)として計算
※3 風量ダイヤル「1」使用時

今回は、トラスコ中山から発売されております、「General Fan DC」をご紹介します。

オフィス・工場や作業現場の送風、ホコリ・粉じんなどの排風、家畜舎内の換気や乾燥など多用途にお使いいただけます。

【静音性】

騒音値：約40dB（微風時）で、静かな環境でも使用可能です。※7段階切替で、微風～強風モードまで自在にコントロールできます。

【節電性】

DCモーター採用で、省エネ性能に優れています。ジェネラルファンII（ACモーター）と比較すると、電気代 約47%（※1）、シーズン中電気代 約2,200円（※2）節約ができます。（※1 最大風量60HZ時 / ※2 2.3円/h × 8時間 × 4ヵ月として計算）

【安全性】

モーター焼き付け防止のサーマルプロテクター（復帰式過熱保護装置）をモーターコイル内に内蔵しており、過負荷による異常過熱を保護します。

商品紹介

Dump Box (ダンプボックス)



今回は、和 new 工業株式会社様より発売されております、Dump Box (ダンプボックス) をご紹介いたします。

フォークリフトに乗ったまま、床板の開閉操作が可能なボックスになります。

主に現場で出た廃材等を、中身のみトラックのボディに排出可能とするために開発されたものになります。

吊フックにより天井クレーンやユニック車でも使用可能となっておりますので、様々な現場で活躍可能です。

オプションで記載のサイズだけでなく、特注サイズやキャスター付きのもの、ご希望の色での塗装などすることが可能となっております。

是非ともご検討・ご用命の程よろしくお願ひいたします。

詳しくは、鉄鋼営業部 建材板金課までお問い合わせください。

スタンダードタイプ

- ✓フォークリフトに乗ったまま床板開閉が可能です
- ✓中身だけをトラックのボディに排出可能です
- ✓吊りフックにより、天井クレーンやユニック車でも使用可能です

レギュラーサイズ

型番	R-1 (下差し) 自重:126kg	R-2 (上差し) 自重:107kg
製品写真		
外寸	W 920 × L 920 × H 950	
内寸	W 840 × L 840 × H 900	W 840 × L 840 × H 760
積載荷重	500kg (積載容量/約0.5m ³)	
材質	鋼製 (亜鉛材使用)	
段重ね	3段まで可	
フォークガイド寸法	200 520 200	200 440 200

ラージサイズ

型番	L-1 (下差し) 自重:188kg	L-2 (上差し) 自重:153kg
製品写真		
外寸	W 1200 × L 1200 × H 1010	
内寸	W 1120 × L 1120 × H 950	W 1120 × L 1120 × H 810
積載荷重	1000kg (積載容量/約1m ³)	
材質	鋼製 (亜鉛材使用)	
段重ね	3段まで可 (自重:107kg)	
フォークガイド寸法	300 520 300	

使用方法 (Rタイプ/Lタイプ)



お問い合わせは (協) 島根県鐵工会 鉄鋼営業部 建材板金課まで TEL (0852) 24-2531

会員サポート室からのお知らせ

TEL (0852) 24-2157

交流スペースとDXサポートセンターについて

いよいよ8月のお盆明けより、新たな鐵工会館での事業がスタートいたします。

今回は、新鐵工会館の顔ともいえる施設（交流スペースとDXサポートセンター）についてご紹介いたします。新会館に誕生する交流スペースは、「人が集い、出会い、繋がりを深める場」をコンセプトに設計されました。この広々とした空間では、会員企業間の交流を通じて新たなアイデアやイノベーションが生まれ、情報発信の拠点としての役割を担います。

大型モニターが設置されており、DXツールの紹介等映し出すことにより、会員企業の皆様のDXリテラシー向上にも貢献することを目指しています。また、鉄骨造の構造体である柱や梁が直接見える設計は、開放感と居心地の良さを両立させ、来訪者との打ち合わせなど多目的に活用できる空間を提供します。

この空間は、単なる集いの場ではなく、デジタル変革を推進し、産業の未来を形作るための原動力となることを目指しています。



交流スペース

会員企業様が直面する人手不足や生産性向上といった喫緊の課題を解決するため、「DXサポートセンター」が新会館内に開設されます。

このセンターでは、製造現場に特化した様々なDXツールを実際に体験することが可能であり、理論だけでなく実践的な知識とスキルを習得する場となります。

この施設は、組織が業界の課題に積極的に取り組み、具体的な解決策を提供することで、デジタル化の推進における会員企業様の取り組みを強力にバックアップいたします。



DXサポートセンター

8月のオープン後より逐次、DXツールそれぞれのセミナーを企画開催していく予定です。見学も随時対応いたしますので、皆様のご来館を心よりお待ちしております。

会員サポート室 次長 後藤 将幸
Email: m-goto@tekkokai.or.jp

損害保険 募集業務についてのご案内

三井住友海上火災保険(株)代理店 株式会社鐵工会は、専門性の高いサービスを提供するため、2016年4月よりセーフティサポート(株)と保険の業務提携を行っております。

組合員様のリスクマネジメントや各種保険相談、組合員の従業員様からのライフプランに関する各種相談や事故相談など、保険業務はセーフティサポート(株)と共同で対応させていただきます。

なお、各種相談等は、株式会社鐵工会または直接、右記セーフティサポート(株)にお問い合わせ下さい。

三井住友海上火災保険株式会社 代理店 株式会社鐵工会

◇業務提携先

三井住友海上火災保険株式会社
AAA 代理店 セーフティサポート株式会社
松江店 : 松江市乃白町700-1
TEL : (0852) 59-3474
担当 : 原 幸宏
大田店 : 大田市大田町大田口984-5
TEL : (0854) 84-0380
浜田店 : 浜田市黒川町4196
TEL : (0855) 25-5320

会員サポート室報告

第75回全国建築板金業者 島根大会が盛大に開催されました!島根県板金工業組合
全国建築板金業者島根大会実行委員会

令和7年5月22日(木)に第75回全国建築板金業者島根大会(以下:全板島根大会)が、くにびきメッセを会場に盛大に開催されました。島根県で開催されるのは、平成元年以来、36年ぶり2回目となります。

遡ることおよそ5年前、当時の島根県板金工業組合理事長の天野宏昌氏が全板連グループ代表を務めていたこともあり、令和7年には島根県で全板大会を開催しようという話が持ち上がりました。

当時は、まだまだ先のこと…。と思っていたのですが、やがてコロナ禍となり、様々な影響を受けながらも、あっという間に時が過ぎました。早々に会場やホテルを押さえ、実行委員会を立ち上げ、14回にも及ぶ実行委員会や、全日本板金工業組合連合会(以下:全板連)事務局との4度にわたる本番前の現地打ち合わせを行い、準備を進めてまいりました。

時を同じくして、およそ3年前からは、全板島根大会で展示する目玉となる展示物を何にしようかと、二人とも現代の名工である後藤重夫副理事長と吉水博技能士会長が中心となり検討を進め、国宝松江城の鯨のレプリカを製作しようではないかという話になりました。早くから、松江城を管理している松江市に働きかけ、松江城内に展示してある先代鯨を実測調査をさせて頂き、設計、宮大工による木型の彫刻が完成したのは令和6年12月末。令和7年2月頃から突貫工事で、毎夜・毎週末、通常の仕事を終えた後に国宝「松江城」鯨実寸大レプリカの銅板加工は続きました。やっとの思いで完成したのがなんと、全板島根大会の前日5月21日でした。後藤副理事長、吉水技能士会長をはじめ、施工に携わられた皆様の大変なご苦勞もさることながら、巨額の総工費を賄う費用は、多くの組合員の皆様をはじめ、関係企業や関係者の皆様による温かいご寄付があればこそ成し得たものと、この場を借りて深く感謝申し上げます。

そして、全板島根大会の開催日を迎え、前日の令和7年5月21日(水)には、ホテル一畑において午後2時から全板連、日板協の通常総会が開催され、新全板連グループ代表も決まり、これをもって、わが島根県板金工業組合理事長の天野宏昌氏は任期を全うすることとなりました。

引き続き、午後6時から、同じくホテル一畑におい

て前夜祭が開催され、石破総理からのビデオメッセージや、舞立参議院議員、丸山島根県知事、上定松江市長をはじめ、多くの方々のご挨拶を頂きました。宴会では、石見神楽の演舞、島根の地酒コーナーでは、県内各地の有名な地酒を沢山準備して振る舞い、島根県を堪能して頂きました。

翌日、5月22日(木)は、くにびきメッセにおいて、第75回全国建築板金業者島根大会の式典が開催され、午前8時から併設展示場がオープンし、午前9時からのテープカットでは、松江城鉄砲隊の祝砲と、しまねっこの登場でさらに盛り上がりました。松江城鉄砲隊は、本来黒色火薬を使用した大迫力の演武が持ち味ですが、残念ながら警察からの許可が下りず、本来とは違う形の祝砲で盛り上げて頂きました。

午前10時から、大会式典で全国から1,700人超の組合員参加者と、メーカー商社等関係者を含めて2,000人が参加する盛大な島根大会となりました。

式典では、後藤副理事長の歓迎の挨拶から始まり、天野大会会長の挨拶、石破総理からのビデオメッセージ、石原島根県副知事、上定松江市長をはじめ、多くの方々に祝辞を頂きました。そして、令和6年度において、功労のあった多くの皆様方への表彰があり、最後に大会宣言を採択し終了いたしました。また次年度開催県の北海道板金工業組合の皆様による、令和8年全板北海道大会のPRがあり、幕を閉じました。

最後の理事長交代セレモニーでは、天野宏昌前全板連理事長から、茨城県理事長の野溝年成新全板連理事長に特別な胸章(全板連バッジ)が渡されました。その際、前々理事長の石本氏、前々々理事長の勝又氏の4名そろい踏みの特別なセレモニーとなり、閉幕となりました。

くにびきメッセの広大な駐車場を利用した併設展示場では、ありとあらゆる板金資材や道具、珍しい品々まで展示してありました。

島根県ブースとしては、まつだいらふまいこう松平不昧公のお膝元、松江のお抹茶・和菓子をPRする為、無料のお茶席を設けて、地元の特産品コーナー、キッチンカーなど、充実した“おもてなし”をさせて頂きました。

この度の第75回全国建築板金業者島根大会では、

不慣れ故に行き届かないところもあったかと思いますが、当日参加した島根県スタッフ 165 名のほか、組合員全員が一丸となり、準備をさせて頂きました。遠路、この島根の地に、大変多くの皆様にお越し頂きまして、誠にありがとうございました。

次は、プライベートでも島根にお越し頂ければ幸いです。

追記：なお、この国宝「松江城」鯨 実寸大レプリカは、ちょうど令和 7 年で国宝となって 10 周年を迎えた松江城を祝うイベントで、6 月 28 日、29 日に開催された“お城エキスポ”でも展示され、多くのお客様に、2メートルを超える実寸大鯨の迫力を目にして頂き、大好評を得ました。

大会の様子



テープカットの様子



松江城鉄砲隊による祝砲



大会式典の様子



歓迎の挨拶 後藤島根県副理事長



大会会長挨拶 天野理事長



石破総理のビデオメッセージ



祝辞 石原島根県副知事



祝辞 上定松江市長



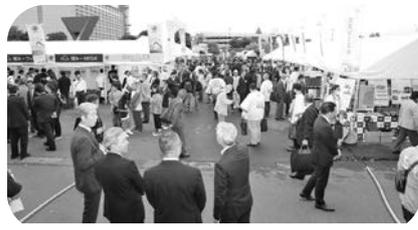
表彰式の様子



理事長交代セレモニー



国宝「松江城」鯨 実寸大レプリカ



併設展示場の様子



島根県スタッフ記念撮影

関連団体 通常総会報告

島根県板金工業組合は、去る5月27日午後4時15分より、「松江エクセルホテル東急」に於いて令和7年度通常総会を開催し、以下の議案が原案通り、承認可決されました。

- (1) 令和6年度 事業報告並びに収支決算承認の件
- (2) 令和7年度 事業計画案並びに収支予算案承認の件
- (3) 役員改選の件
- (4) その他の件

併せて親会総会に先立ち、同日午前11時より、同組合青年部の通常総会も同会場で開催され、令和6年度事業報告並びに収支決算承認の件、令和7年度事業計画案並びに収支予算案承認の件、役員改選等が原案通り承認決議されました。

なお、本年度は役員改選期に当たり、次の方々が就任されました。

島根県板金工業組合

理事長 太田 隆 (株太田板金)
 副理事長 後藤 重夫 (有後藤板金)
 副理事長 野々村恭志 (野々村板金工作所)
 副理事長 勝部 信生 (有勝部板金)
 副理事長 田中 克彦 (田中板金)
 専務理事 多野 美和 (協同組合島根県鐵工会)

島根県板金工業組合(理事長 太田 隆)

理事 安野 浩二 (有安野板金工業)
 理事 天野 慶一 (天野板金)
 理事 伊岐 建司 (伊岐板金店)
 理事 陰山 裕一 (陰山板金工作所)
 理事 須田 強 (有須田板金)
 理事 戸崎 国道 (戸崎板金)
 理事 林 朋法 (ハヤシ板金)
 監事 石倉 吉郎 (ばんきんや)
 監事 古川 勝久 (古川ブリキ店)
 相談役 天野 宏昌 (有天野板金工作所)

島根県板金工業組合 青年部

部長 安達 好宏 (株 T-metal)
 副部長 吉水 太郎 (有吉水板金)
 副部長 宇都宮 功 (宇都宮工業株)
 副部長 元田 直樹 (有元田自動車修理工場)

島根県建築板金技能士会

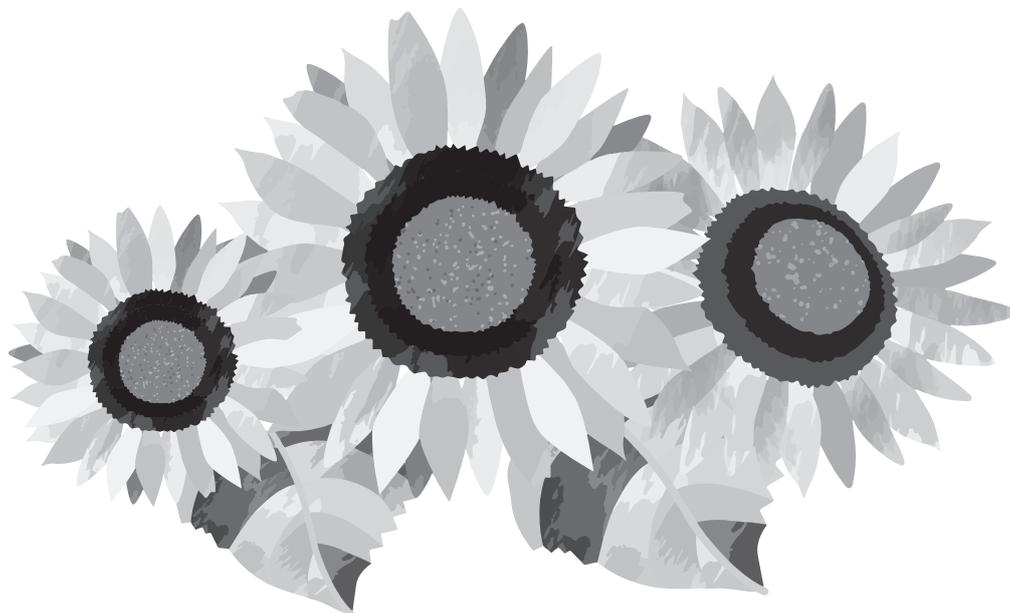
会長 吉水 博 (有吉水板金)
 副会長 仲田 満 (仲田板金)

技能研究部会

会長 石倉 吉郎 (ばんきんや)

責任施工制度運営委員会

委員長 太田 隆 (株太田板金)
 副委員長 後藤 重夫 (有後藤板金)
 副委員長 勝部 信生 (有勝部板金)



令和7年度(第63回)溶接技術競技会島根県大会兼 (第70回)全国溶接技術競技会島根県予選

島根県溶接協会

去る4月20日(日)にポリテクセンター島根に於いて(第63回)溶接技術競技会島根県大会が県内7事業所から被覆アーク溶接部門に3名、炭酸ガス半自動溶接部門に10名の合計13名が参加して行われました。

その後、外観審査、X線及び曲げ試験を行い、総合結果にて今年度の各部門優勝者が下記の通り決定いたしました。

令和7年度島根県大会において、見事第一位に

輝かれた中村選手・西山選手おめでとうございます!!

富山県で開催予定の第70回全国溶接技術競技会北陸地区富山大会へ島根県代表として出場していただきます。

全国大会においても島根県大会同様、鍛錬された成果を十分に発揮していただき、全国入賞を期待しております。

令和7年度溶接技術競技会島根県大会結果

被覆アーク溶接の部

第一位 (株)プロテリアル安来工場 中村 太朗 選手

炭酸ガス半自動溶接の部

第一位 内藤鉄工(株) 西山 陽平 選手



島根県大会の様子

溶接技能者評価試験における『溶接材料変更不可』について

島根県溶接協会

溶接技能者評価試験時には申請をおこなった溶材(溶接棒・ワイヤー・溶加棒)を持参願います。

※溶接技能者評価試験受験時に事前配布する『受験の心得』に記載がございます。

2025年6月以降実施の試験から溶接材料の変更は出来ません



(27)溶接材料(溶接棒・ワイヤ・溶加棒等)は変更できません。申請と異なった溶接材料を使用した場合は、不合格となります。申込時に申請した溶接材料を準備してください。

3. 溶接の標準作業時間

(1)1種別あたりの標準作業時間(仮付けを除く溶接作業時間の目安)は下表のとおりです。時間超過しないよう、安全に効率よく作業し、次の受験者のために早めに溶接ブースを空けられるようご協力ください。

(2)著しく時間を超過した場合や、無断で溶接ブースを離脱した場合などは試験を中止させることがあります。

本溶接の標準作業時間 (単位:分)

種類	N-1	N-1P	A-2	A-2P	A-3	A-3P	C-2	C-2P	C-3	C-3P	T-1	T-1P
手溶接	15	30	20	60	40	180	30	80	50	200	20	30
半自動溶接	15	30	20	60	40	180	30	80	50	180	--	--

ステンレス鋼	TN	TN-P	CN-CA	CN-P	CN-M	CN-PM
種別	MA	MA-MN	MA-MN	MN-M	MN-PM	MN-PM
手溶接	20	40	30	70	40	80
半自動溶接	45	90				

種類	手溶接	半自動溶接	手溶接	半自動溶接
予め溶接後	45	90	50	60
基礎溶接後	40	70	40	60

- II. 溶接方法別の注意事項**
- 1. 手溶接 [JIS Z 3801]の受験**
- (1)溶接棒・溶加棒
申請した溶接材料を準備・持参してください。
2022年9月以降の試験から受験申請確定後の溶接材料の変更は不可となりました。
- (2)ティグ溶接のシールドガスはアルゴンガスです。なおバックシールドはできません。
- (3)同一試験材料の溶接に使用する溶接棒は、手溶接の場合、第一層目を除いて同一銘柄のものを使用しなければなりません(棒の径は異なっても良い)。
- (4)組合せ溶接は始めの1~3パスをティグ溶接で行い、溶接金属の高さが6mmを超えないようにすること。
ティグ溶接が終わったら必ず立会評価員に確認を受け、次の溶接に入る手順を守ってください。
確認を受けないで次のパスを溶接をする不合格になります。

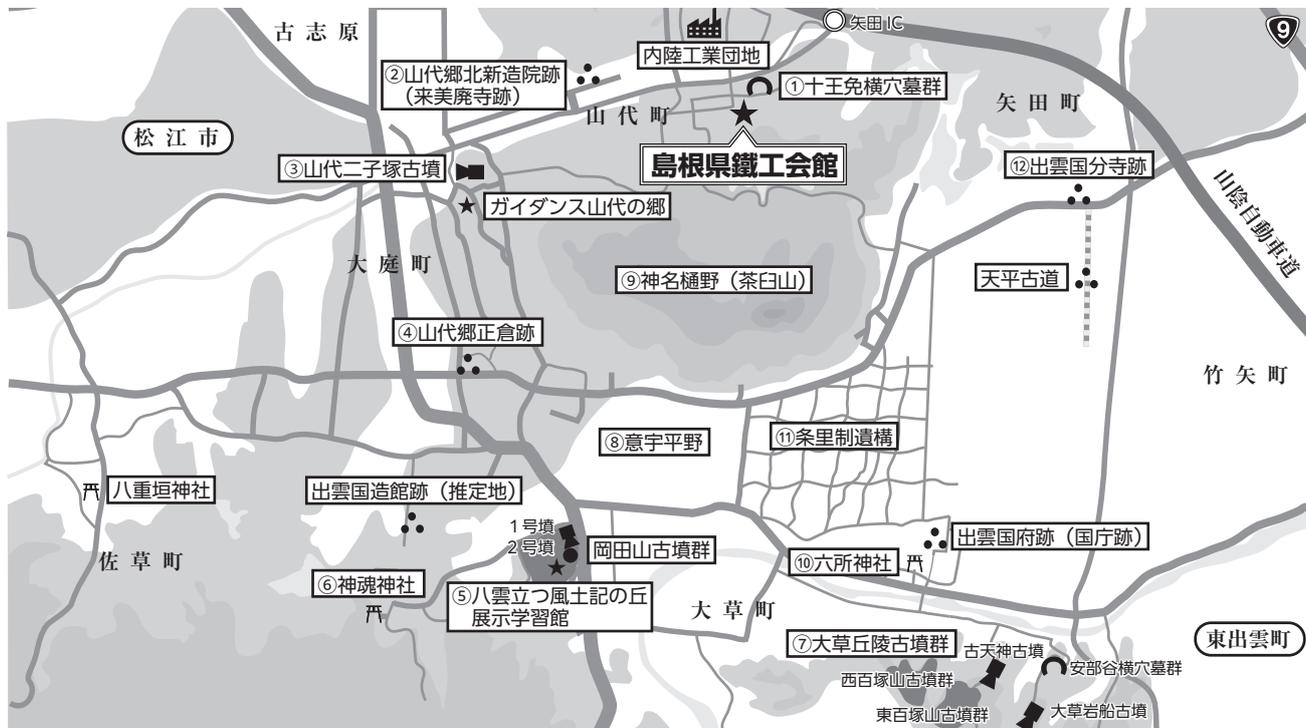
※〈受験の心得〉P7 (27)へ記載あり

こんなにあるのか郷土の遺産

島根県観光推進協議会委員
風土記を訪ねる会代表
山陰万葉を歩く会会長

⑥4 鐵工会館が古代出雲の中心地へ移転する

川島 芙美子



奈良県明日香村（2026年めざして世界文化遺産へ登録中）は、日本の国が成立する頃の中心地。

上の地図の場所が、その頃の出雲の国の中心地。みんなで力を合わせて、暮らしを支え、大和に負けない国づくりをした中心地。

これを機会に、ゆっくり歩いてみませんか。

鐵工会館の隣にある①十王免横穴墓群は、私の思い出の場所です。学校に勤め始めの頃、同僚と二人自転車に乗り、先輩である考古学の先生に、その頃は草ぼうぼうの原っぱ（今の内陸団地）を案内してもらいました。

古代も何も知らず必死について歩いた二人でした。草原をかき分け、かき分け、そこにたくさんの横穴が在る前に到着し、目の前の古墳群を見上げた時の感動は忘れません。

自分につながる千五百年前の人々に会った驚き。その後は、幾つかの寺跡、次々と出会う古墳群、出雲国府跡（国庁跡）、出雲国分寺跡と案内されました。

何もないと思う所に次々現れる古代の人々の営みに興味が湧きました。

当時の人々は、どのような暮らしを営み、どのような道具を使い、何を食べ、どのような家に住んでいたのかと。また、お墓に絵が描かれていたのは誰がなぜ描いたのかと。そうした疑問が次々と湧いてきました。

②山代郷北新造院跡—七世紀に、こんな立派な寺院がありました。地元の有力者がこの寺を建てる力をもっていたのです。



十王免横穴墓群
(7世紀頃の37基程の横穴墓群)



十王免横穴墓の中の壁画
(狩人、船などの壁画)



山代郷北新造院イラスト

金堂は釈迦三尊像の須弥壇をもち、塔をもつ寺。当時の奈良に在った寺に匹敵します。

③山代二子塚古墳

一周りに溝が築かれ、150m 程の大きさの前方後方墳です。開拓した王様のお墓です。お墓の中に入ると、昔の人達が土を袋に入れ、運び、積み上げ、排水できるように築いたようすがわかります。昔の人は、えらい！



山代二子塚古墳イラスト



山代郷正倉イラスト

④山代郷正倉跡

710 年に日本の国ができ、出雲の国が決まり、中央の朝廷からお役人さんが派遣され、税金を集めに来ます。ここはその税金を収納した倉庫の立ち並ぶ所です。

700 年までに全国の戸籍ができ、全国に国道ができ、中央と地方に役所ができ、税金の取り立てが始まりました。

その辺のしくみは、⑤八雲立つ風土記の丘展示学習館で説明を聞きながら、見学してみてください。

日本の国が成立するまでは、出雲の国は出雲国造が治めていました。⑥神魂神社は、その頃からの出雲国造が、神様をお祀りする場です。大社造り最古の建物で国宝です。隣には国造の代々の墓所もあります。

国造りのおおよそがわかったら、意宇川に添って中海へと土堤を歩きます。

右手は⑦大草丘陵古墳群が続き、左手は⑧意宇平野が続きます。

大草丘陵古墳群には 200 基近い古墳があります。意宇平野は、古代では、能義平野につぐ大きな平野で、大橋川の入口、中海への港を擁する一等地です。平野の真中にある姿の良い独立峰は、⑨神名極野（神のこもる山）です。昔から、人々が拝んでいた山です。

⑩六所神社—国庁の中にある出雲の神々を集めて祀る総社で、国の役人がお祀りしていました。柱跡がたくさんあるのは、すべて国のお役所を示します。すべて、書類によって行政が行われていました。当時からお役人さんは凄い！ 中国に習って、法律を作り、行政のしくみをつくりました。



出雲国府跡と条里制



役人のイラスト
この頃から役人の文書で行政が行われていた。

ここの田は、区画がきちんとしている⑪条里制を今に残しています。戸籍に載る一人一人に田が与えられ、稲を税として供出しました。役人が稲束を確認し、荷札をつけ、書類を作り、それを朝廷へと運んで行きました。

⑫出雲国分寺跡—奈良に都が造られてから 30 年程経つと、全国に国分寺が造られ、仏教による政策も広まりました。



今も残る国分寺跡と、そこから続く天平古道

出雲の国をますます豊かにしていきました。ここ（地図上のエリア）は、その苦心の跡が偲ばれる、古代出雲国の中心地です。

これを機会に、その知恵の深さ、苦心の積み重ね、神仏への祈り、を巡ってみませんか。

〔 文章中の番号は地図上の番号と対応するイラストと写真はすべて風土記の丘展示学習館より提供 〕

2025年度各種技能講習・安全衛生教育等実施予定表〈抜粋〉 (2025年7月~12月)

※講習、教育等の詳細・申込みについては、下記各種講習実施機関に直接お問い合わせ下さい。

島根労働災害防止団体連絡協議会

Table with columns for '講習等の種類' (Type of training) and months from July to December. Rows include categories like '技能講習' (Skill training), '特別教育' (Special education), and '能力向上教育' (Ability improvement education).

各種講習等実施機関

- List of implementation organizations including: 島根労働基準協会, 建設業労働災害防止協会島根県支部, 陸上貨物運送事業労働災害防止協会島根県支部, etc.

- List of implementation organizations including: 日本砕石協会島根県支部, 建設荷役車両安全技術協会島根県支部, 島根県環境保健公社, etc.